

令和6年8月1日

森林応用研究大会特集号のお知らせ

応用森林学会会員各位

森林応用研究編集委員会

暑さ厳しき折、会員の皆様には一層のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

昨年度総会で議決されたように、今年度は応用森林学会大会で発表した内容を森林応用研究の大会特集号に論文として投稿できるようになりました。それに伴い、投稿規定と執筆要領を改訂しました。主要な改訂内容は以下の通りです。まず、学会大会で発表した内容を大会特集号に投稿する際の論文種目を「講演論文」と「速報」とするため、これまで「論文」としてきた種目を、「学術論文」に変更いたします。投稿は学会大会から約10日後を予定していることから、「講演論文」および「速報」は「学術論文」や「短報」より少ない4ページおよび2ページと設定しています。学会大会で発表した内容を「講演論文」または「速報」として投稿することは義務ではなく、森林応用研究誌の「学術論文」または「速報」として投稿することや他学会誌に投稿することも自由に選択できます。なお、大会特集号の発行は年度内を予定しております。スケジュールにつきましては下記をご参照ください。

学会大会から大会特集号発行のスケジュール

学会大会：11/30

原稿受付締め切り：12/9

一次審査結果通知：1/6 まで

原稿の執筆者から編集部への提出：軽微な修正は1週間後、大幅な修正は2週間後

完成原稿の受付：1/24

印刷およびJ-stageへのアップロード：2月中

今年度は通常発行に加えて大会特集号を別途出版いたしますが、経費削減のため冊子体配布は賛助会員のみとし、一般会員および学生会員にはJ-stage上にアクセスすることで閲覧いただきます。従来はモノクロ原稿で掲載料は1ページあたり2,000円でしたが、「講演論文」や「速報」はJ-stageへの登録料および印刷代として、掲載料を一律10,000円といたします。

今回、初めて大会特集号を発行するにあたって、以上のような形態で進めていきますが、今後大会特集号を通常の雑誌発行の一部とすることや、印刷体の廃止、投稿料の変更などを適宜検討してまいります。ご理解の上、学会活動が活発化するよう皆様の積極的な投稿をお願いいたします。